



の犠牲となりて獄に下れりと云はるゝものにして野田に於ける組合
 運動の殊勲者と稱せらるゝものなるも小泉等幹部は右兩名の出獄後
 決して不誠意の態度に出て在監中家族に對しては表面多少の親切を
 盡せし出なるか出獄後に於ては殆んど風馬牛の態度を示し曩日の大
 犠牲と長き獄中生活の苦難をも忘れ去りたる如くにして怯として愧
 ぢず爲めに相澤は生活日毎に窮乏するに至り常に同志の不信と冷
 とを憤き居り或は會社に並木工場課長を訪ねて衷情を懇へ或は衆人
 補座の間に小泉を面罵する事もありしや傳へられ現に今回の自木間
 題に際しても解雇者に向ひて（小泉等と行動を共にし居るは不路の
 悲惨なること現に余に於て實驗する所の如し一日も早く彼等の魔手
 より脱せよ）等しきりに懲懲し居りたりといふ。
 されば彼の自殺は全く労働組合幹部の不信と不誠意とを懺し同志に
 欺かれたるを讀り且悲しみて生來の一徹が遂にこの悲惨なる結果を
 招來せるものと稱せられ一編の人生哀史とも云ふべき彼の生涯に對

